

# 決算に関する特別委員会

## 令和2年度歳入歳出決算・ 令和3年度補正予算などを審議

### 委員長報告

1 防災行政情報伝達システムの子局スピーカーの再調整及びスマートフォン向けアプリの利用促進並びに難聴エリアにおける個別受信機の貸与を図るなど、町民の生命と財

2 高齢者の増加や退職時期の引上げ、また活動の複雑化、多様化を背景に民生・児童委員のなり手不足が懸念されることから、早期に自治会と情

5 災害の多発化・激甚化する中、消防団員が減少していることから、更なる加入促進

産を守るため、防災行政情報を迅速かつ、確実に伝達ができるよう対応していただきました。



決算に関する特別委員会  
委員長 齊藤 登

3 ふるさと納税返礼品の魅力向上及び地域経済の活性化を図る目的として、深浦町独自の新たな商品開発に報奨金などを支給する施策を実施し  
4 新型コロナウイルスワクチンの接種は強制でないものの、集団接種で接種できなかった方の個別接種、また今後接種回数が増えたり12歳未満の小児が接種対象になるなど国の方針やワクチンの供給が明らかになった際は、迅速な対応をとること。

決算に関する特別委員会は、委員長に斉藤登議員、副委員長に今勝吉議員が選任され、9月6日から8日までの3日間にわたって、令和2年度決算関係議案8件、令和3年度補正予算関係議案8件、条例に関する議案5件、その他の議案6件、合計27件について審議しました。  
審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。その中から5項目を抜粋しました。

### 質疑応答

及び消防団員の労苦に報いるため、適切な処遇など団員確保策を講ずるべきである。

#### 【防災無線】

調整してほしい！

#### 問 小野(文)委員

防災無線のアナウンスが、やる気のないような声に聞こえる。高い経費で整備した内容に見合った調整をしていた  
答 堀内総務課長

町民の皆さんからの苦情などを基にシステム会社に要望し、対応している。まだまだ改善の余地は残っていると思



**問** 大川委員  
何を話しているのか全く聞こえない。スピーカーの増設を考えられないか。

**答** 堀内総務課長

全町の住宅地を調査した結果を基に今の位置に設置しているのですが、スピーカーの増設は今のところ考えていない。スマホをお持ちであれば、専用アプリで放送の内容を確認することができるのが新しいシステムの特徴でもある。  
※専用アプリについては、10ページをご覧ください。

**【民生児童委員】**  
なり手の確保は？

**問** 藤田委員・工藤委員

今現在、民生児童委員の方々が高齢化しているということだが、なり手の確保の心配はないのか。

**答** 赤石福祉課長

高齢化しているというのは

確かである。また、後継者がいないと思われる地区は確かに存在する。民生児童委員の推薦は、自治会長からなので、民生児童委員から辞職の意向があった場合は、早い段階から後継者を見つけてやるように対応したい。



**【ふるさと納税】**  
魅力ある返礼品を！

**問** 小野(文)委員

ふるさと納税寄付金が昨年度に比べて減っている。返礼品に魅力がないからではないか。町独自の新たなヒット商品に報奨金など支給してはどうか。

**答** 黄金崎総合戦略課長

寄付件数は増加傾向にあるものの、寄付額が少し減っている状況ですが、そんなに大きく減っているというわけでは

もない。今現在ポータルサイトが4つだが、10月になると2つくらい増える。

**答** 佐藤副町長

深浦町は早くから町の特産品「ふかうらのいいもの」を認定して宣伝しているが、マンネリ化していることもある。新しい商品を開発したくなるようなやり方を考えて行く必要があると思う。



**【新型コロナウイルス ワクチン接種】**  
3回目の接種は？

**問** 大高委員

ワクチンの効力が6か月経つと半分になるという噂がある。3回目の接種や12歳未満の子供への接種について、今後どうなるのか。

**答** 小野健康推進課長  
町では予防接種法に則って実施している。国が指示したものを粛々と実行する。

**答** 神林深浦診療所事務長

国も3回目のブースター接種を考えているようだ。吉岡所長からは、3回目の接種があると思うのでその心づもりでと言われている。12歳未満の子供への接種は、米国で6月時点で5歳から11歳の臨床試験を始めている。その結果、米国で使用され日本でも承認されれば、接種対象となるのではないか。



**【消防団員】**  
報酬や手当を増やして！

**問** 工藤委員・大高委員

消防団員の報酬や出動手当を少し増やしてほしい。来年度の予算に反映していただきたい。

**答** 吉田町長  
いざ災害の時に誰が現場で動くかって言った時に、警察ですか、自衛隊ですか、まず分団なんです。しかし現場の分団はというと、なり手がいない。財政当局も大変ですが、ある程度報酬など増やす議論になっている。来年度の予算配分と世の中の動きを見ながら対峙していかなければならないと思っている。

**答** 堀内総務課長

6月議会に大高議員からの一般質問にもあつて、町としても重く受け止めている。あれ以来、消防団の幹部会議は開催されていないので、10月4日に開かれる予定の消防団の幹部会議の中で何らかの方針等が示されると思う。

